

## ■ 2012年度 第2回研修会（FD）「より効果的な授業とは何か」

### 事後アンケートまとめ

1. 目的 今後の研修運営に役立てるため。
2. 調査対象者 参加教職員 15人 回収数 15 回収率 100%
3. 調査年月日 2012年6月9日（土）比治山大学
4. 調査方法 当日参加教職員にアンケート調査票を渡し、当日回収した。
5. 調査結果 下記のとおり（原文記載）

■今日の研修会で得られたものを一つあげ、どのようにご自身の授業で応用できるかを教えてください。

信頼（相互）関係を築く事の大切さ

これからもここに力を入れて、より魅力的な刺激的な授業が出来るようにがんばりたいと思います。

他の先生方が授業で困っていらっしゃる事を具体的に知ることができたので、現在見えていない（今後出あう可能性のある）事態に対処する事前の備えになると思いました。とくに志々田先生のお話は、自分が思って行動したり、しようとしていることを客観的に解説していただいたので頭の中を整理していただいたように感じました。

昨今の学生気質およびこれに対応した（学習法・対処法）を知ることができたので、授業を行う際に参考になります。

また、様々なアクティブ・ラーニングの手法も演習科目に用いられると考えますので、有益でした。既に演習科目に取り入れている手法もあり、その意味でも改めて発見でした。

聴覚教材・視覚教材の工夫のために授業中のビデオ撮影を試みようと思いました。

「褒めることが重要」自分の講義中、認識度・習熟度を確認させる為、挙手・発言させていたが、不十分な内容・結果は「現状を認め、今後改めること」としか評価していなかった。（褒められた経験が乏しいとは思わなかった）

学問への興味・理解の入り口は教員のパーソナリティによる所が大であること。

実習考察を非常にユニークな視点で書く学生が居る。その都度、着眼点の良さを認めてほめるが、もう一步踏み込んで他の学生に伝達、披露する経験を与えてみたい。

授業改善の3つのヒントで、自分の姿をビデオ撮影して見るというのは自分の講義の様子を知る上で非常に有用であると思った。また、学生に発言させる場合でも何の告知もなく当てるのではなくて、意見を書かせてその内容を見て誉めてから発言させるようにしようと思った。

視覚教材の工夫をする。板書の書き方、配布資料を整理する。

相互のコミュニケーションをとれるようにする。

教えなくてはいけないと肩に力ばかり入っていました。学生が参加し多くのことに気がつけるよう授業改善したい。

<p>「いい授業」について参加者の方々も学習成果について関心をもって授業に取り汲んでいることが分かりました。学生が授業の中で教員や仲間と関わり新たな知識に触れることによって考えられ、そこから行動していける人となれるように皆さんから得たご意見を参考に自分の教授の中に活かしていきたいと思います。教授者として始まったばかりなので学生の姿を自分の鏡として一緒に学んで行きたいと考えています。</p>
<p>グループワークに取り組んで自己認識をした後に 志々田先生から授業の工夫をお聞きし大変勉強になりました。双方向の授業をするために成功体験を重ねられるような工夫は積極的に取り入れていきたいと思います。</p>
<p>専門を教えるという考え方をしてはいけないと思ったこと学生の考え方、意識はとてもシンプルなのだとすることに驚きました。</p> <p>授業で双方向で交流理解をすることから心がけて授業をしたいと思います。</p>
<p>アクティブ・ラーニングの方法でミニッツペーパーの利用だけでも応用可能であるとのことで試してみようと思います。授業中での双方向という大がかりなものではなく、小さいものを組み合わせてみます。</p> <p>また、グループワークは自分自身が体験して、学生の気持ち（大変さ）が分かりました。</p>
<p>今日、お聞きした様々な取り組みは既実践しているものが多く、効果を疑っていたが、志々田先生の工夫と重なり、自分の授業方法に一定の確信を得ることができた。</p>
<p>学生が授業に対して何を重要と考えているか、よく分かった。配布する資料などの量、通し番号をつけるなど細かい気配りが大事だと分かった。私は割りと重要なことがわかってもらえれば、あとは適当に済ますことが多かったので、視聴覚教材など、気配りを大切に、少しでも授業に興味をもってもらえるような授業にしたいと思った。</p>
<p>学生には過保護なくらい手をかけてあげる。</p> <p>大学生なのである程度自分でできるものだと思っていましたが、思っていたよりも幼い面があり、どのくらいまで手を貸すべきか迷っていました。これからは視覚教材など、しっかり準備してあげようと思いました。</p>

<p>■教育ネットワーク中国の今後の研修会で実施するといテーマ・課題を教えてください。</p>
<p>学生のやる気のスイッチはどこにあるのかをベテランの先生からうかがいたい。</p> <p>Active learning のテクニックを学びたい！</p>
<p>専門分野別の授業改善</p>
<p>学生の国語力向上対策</p>
<p>大学と企業の価値観の違い「なぜ、あんな学生があれだけの内定を？」「なぜ、あの学生が内定を一つも取れない」の本音</p> <p>企業にとって学業などどうでも良いという本音を引き出してみる</p>
<p>他の教員が授業で工夫していることを聞くのは非常に参考になるので、その事例報告会みたいなことをして欲しい。</p>
<p>授業改善について</p>

参加の方々とさらに学びの場となっていけるような研修会となれば良いと感じます。

今回のようなFDの内容をお願いします。

時代に合った大学の授業のすすめ方

PBLができる分野とできない分野について具体例を提示していただき、できない分野をできるようにする方法を模索したいです。

現代の学生を理解するには

授業改善はとてためになるので、またあると良いと思いました。

■今日の研修会はいかの指標のどれに当てはまりますか？

①たいへん有益だった	12人	(80%)
②やや有益だった	2人	(13%)
③あまり有益でなかった	0人	
④全く有益でなかった	0人	
⑤無回答	1人	(7%)